

# ホットスポットウォークで 広げよう！！

## 子どもも大人もおじいもおばあ

## も皆が住みよい地域づくり♡

豊見城市社会福祉協議会 第2層生活支援コーディネーター  
田仲育恵

### ○内容

「ホットスポット」とは「外から入りやすく・見えにくい場所」の事です。立正大学の小宮信夫教授が提唱する「犯罪機会論」をもとに、犯罪者が犯罪を実行する際、『その場所が犯罪を行いやすい場所であるかどうか』に焦点を当て、地域の中にあるホットスポットを探し、把握し、重点的にパトロールする事で子供を犯罪から守ることを目指しています(ホットスポット・パトロール)。沖縄県にある NPO 認知症行方不明者家族の会では、このホットスポットが、子ども達が犯罪に巻き込まれやすい場所であると同時に高齢者が行方不明になった際、迷い込みやすい場所でもあるとして、地域のホットスポットの把握や地域全体で高齢者を見守る体制づくり、自治体との情報共有や連携の必要性を提言しています。その内容をもとに、地域で「ホットスポットウォーク」を開催、「ホットスポットエリアマップ」を作成しました。地域を良く知っている住民と一緒に歩いてホットスポットを探することで、「普段歩きなれた道だけど、いつもと違って見える」という感想を頂きました。この気づきを元に今後、地域の中で認知症の勉強会や行方不明者が出た際の搜索態勢の整備なども行っていきたいと考えています。

### ○地域のホットスポットウォークの様子



ホットスポットの勉強会を開催 参加者の声をもとに地図に印をつけて、歩いてその場所へ



約1時間半歩き、地域のホットスポットを写真にとる

後日、写真をマップに張り出し



地図作成中「あの場所もホットスポットじゃない？」と話が出て急遽、見に行ったらこんな感じで作成！